InfiniteEARTH™
Beyond Carbon. Beyond Sustainability.

Rimba Raya
BIODIVERSITY RESERVE
An InfiniteEARTH™ Project

RIMBA RAYA ORANGUTANS

*InfiniteEARTHとRimbaRaya Conservation*は、オランウータンやその他の絶滅危惧種の*IUCN*レッドリストに掲載されている動物の保護に力を注いでいます

Rimba Rayaは、持続可能な開発検証済み影響基準（SD VISta）に登録した最初のプロジェクトであり、17の国連SDGすべてに貢献していることが確認されています

SD VISta

InfiniteEARTHは、炭素クレジットの販売からの収入を利用し、リンバラヤ生物多様性保護区での影響力のあるイニシアチブに資金を提供します。

この財政的なコミットメントは、これらの脆弱な動物がこのプロジェクトゾーンにて、安全に保護され続けることを保証します。

私たちは、長さ1.3 kmの遊歩道、恒久的なレンジャーステーション＆リリースキャンプの建設に資金を提供した主要な泥炭湿地林、理想的なオランウータンの生息地である譲歩のエリアを選択しました。

このリリースエリアを「Camp Rimba」と呼んでいます。

CAMP RIMBA

オランウータンのリリースサイトにつながる*1.3km*の遊歩道。

若いメスのオランウータンとその乳児は、手に入れることの出来る餌を確保し利用するために餌場に戻ることがよくあります。

これにより、森林警備隊員が乳幼児やその他の脆弱なオランウータンを監視することが可能になります。

InfiniteEARTHは、野生で生まれ以前は飼育されていた約50頭のオランウータンの解放を支援してきました。

これは、これらの絶滅危惧種の動物を救うためにたゆまぬ努力をしているDr. Birutė Mary Galdikasが率いるオランウータン財団インターナショナル（OFI）との長期的なフィールド保全パートナーシップのおかげで可能となりました。

これらのオランウータンをリリースサイトに輸送するプロセスは、費用がかかり、それに加え複雑で、車やボートでの移動が必要です

最終的に、オランウータンは通路に沿ってリリースプラットフォームに運ばれるか押し出されます。

OFI森林警備隊員は敷地内に住んでおり、オランウータンの日常のケアと保護に取り組んでいます。動物が新しい環境に適応し、リハビリテーションプロセスで得たスキルを使用して、私たちの森の中で自由に適応した後、自分自身を守るために、必要に応じて餌と牛乳の水を提供します。

私たちのすべてのイニシアチブは、地域社会のメンバーやその他の利害関係者に利益をもたらし、貴重な生物の多様性を持続的に保護します。

CCB TRIPLE GOLD

Verified Carbon Standard
A VERRA STANDARD